

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2020. 4. 20.
NO. 56 (臨時号)
全日本建設交運一般労働組合
全国学童保育部会 発行
編集：事務局

仲間の職場を守りぬこう

全国学童保育部会の

みなさんへ

新型コロナウイルスの影響で学校臨時休校に伴い、肉体的にも精神的にも疲労が重なる中奮闘しているみなさんに心より敬意を表します。

また、いち早く全国の状況をつかみ、厚労省や各自治体の実態を伝え、できることはすぐやるという「全国学童保育部会」の機敏な対応にも頭の下がる思いです。

今回のこのことで、改めて皆さんの仕事が社会的に必要不可欠であること、にもかかわらず制度そのものが脆弱であることが社会的に可視化されました。

「はい、いいえ。」

また、今後自粛要請などにより、学童保育所の運営そのものが厳しくなる等も起きてくるかもしれません。

こうした時こそ建交労の出番です。建交労の仲間の職場は守りぬぎましょう。

さらに幹事会で決定した「新しい制度・政策(案)」を実効性あるものにしていきましよう。

今は先行きの見えない「不安」や「疲労」の中であるのだと思いますが、この先には「希望」があるのだと信じ、この難局を切りぬけていきたいと思います。

それにしても、いつまで続くのか予想できない中です。保育時間中の休憩・休息は知恵と工夫でしっかりとってください。

私たちは ONE TEAM です。

建交労中央執行委員長

角田 季代子



「皆さんは、はなはだいい労働者・低賃金・不安雇用労働者ではないはず」

わたしたちは ONE TEAM

横のつながりの大切さ、実感

北海道は全国に先駆けて緊急事態宣言が発令されました。学童は開所できるのか？行政からは、開所できる態勢か？いつから態勢が整うか？「決定」に至るまで、ものすごい時間がかかりました。

結局、道の発動した宣言の2/27～3/4までは完全閉所。その間はクラブ全体や遊具の消毒のため出勤。

3/2の夕方になり、ようやく3/5から原則開所の通知 函館分会の仲間たち：写真は、2016年

保護者も状況を理解してくれ、「先生！マスク持ってきたよ！」「うちの職場にアルコールたくさんあるから寄付するね」など沢山協力してくれ助かりました。

また、市からもマスクや次亜塩素酸の提供や道連協から手指消毒用ジェルの提供もあり横の繋がりの大切さを実感しました。現在は第2波が押し寄せ、4/20からは再び朝から保育になります。

みんな、体を大切にしながらこの局面を乗り切りましょう！

函館学童保育分会 分会長 渡辺将隆

